

★ 新生児聴覚検査のご案内 ★

生まれてくる赤ちゃんの健やかな成長はみんなの願いです。しかし、生まれてくる赤ちゃん1,000人のうち1～2人は、生まれつき耳の聞こえに障がいを持っていると言われています。その場合には、早く発見して適切な援助をしてあげることが赤ちゃんの言葉と心の成長のためにはとても大切です。

新生児聴覚検査は、生まれてまもない赤ちゃんの耳の聞こえの状態を調べるもので、眠っている間に赤ちゃんを傷つけたり痛い思いをさせたりすることなく、自動的に判定を行う耳の検査です

【対象者】

那賀町に住民票のあるお母さんが出産した赤ちゃん。
原則として出生後入院中に、入院中の医療機関で実施します。

【検査方法】

検査方法は2種類あります。どちらの方法も赤ちゃんが自然に眠っている間に数分間で安全に行える検査で赤ちゃんは何の痛みも感じませんし副反応もありません。また、薬も使いません。

① 自動聴性脳幹反応（AABR）

刺激音を聴かせて脳から出る微弱な反応波を検出し、正常な波形と比較することにより、自動的に判定を行う耳の検査です。

② 耳音響反射（OAE）

耳の穴（外耳道）に小さなスピーカーとマイクのついた小さな器具を耳にいれ内耳から小さな音が反射されてきたものを記録するものです。

【検査費用】

初回検査は、公費助成を受けられます。妊娠届時にお渡しした、「新生児聴覚検査受診票」を、検査を受ける医療機関へ提出して検査を受けて下さい。

【転出したら】

この受診票は、那賀町外へ転出した場合は使用できません。転出先の市町村で交換して下さい。

【検査の結果「再検査」であった場合は】

もし、検査の結果「再検査」であった場合でも、直ちに耳の聞こえが悪いと意味するものではありません。

さらに詳しい聴力検査を受けていただくことが必要ですので、主治医から説明をお受けください。また今回、再検査不要となった赤ちゃんの場合にも、成長の過程で罹患する中耳炎やおたふく風邪などの疾患後、耳の聞こえが悪くなる場合もありますので、心配な場合はお早めに主治医にご相談下さい。

徳島県新生児聴覚検査医療機関一覧

分娩取扱医療施設名（検査機器 AABR）	
梶産婦人科	つるぎ町立半田病院
遠藤産婦人科	徳島県立中央病院
蕙愛レディースクリニック	吉野川医療センター
なかたに産婦人科	徳島赤十字病院
徳島市民病院	徳島県立海部病院
中山産婦人科	阿南医療センター
徳島大学病院	徳島県鳴門病院

分娩取扱医療施設名（検査機器 OAE）	
祖川産婦人科クリニック	
レディースクリニック兼松産婦人科	
メイプルクリニック高橋産婦人科	

問い合わせ

那賀町保健センター
電話 62-3892

※分娩取扱医療施設によって新生児聴覚検査受診票の種類が違うのでご注意ください。
※県外出産の場合は払戻用の受診票と交換しますので、保健センターにお問合せ下さい。